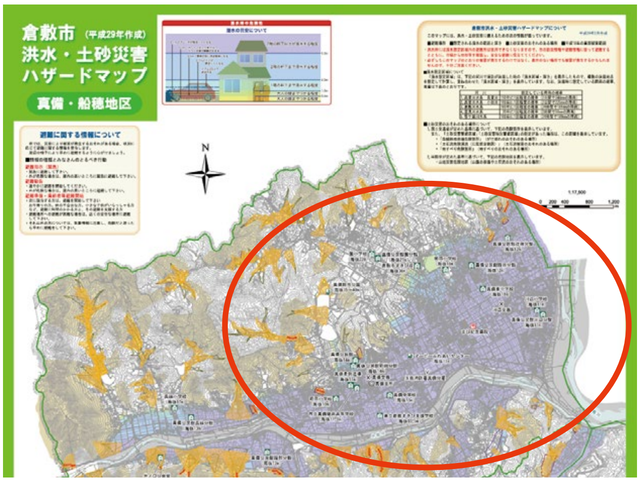
防災Now

あきる野市防災・安心地域委員会

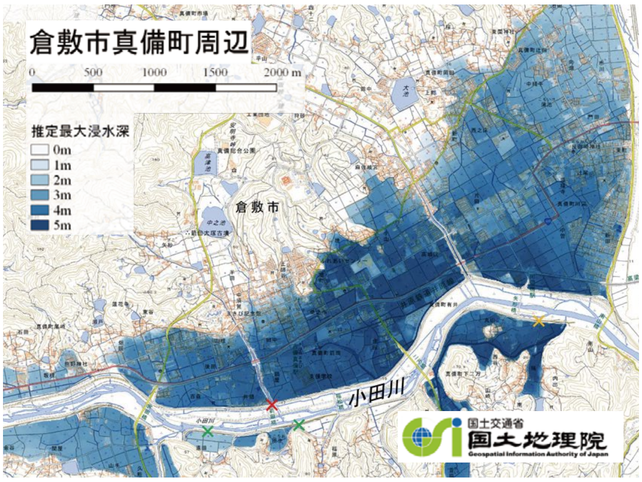
平成 31 年 1 月 31 日
（第 1 号）
発行責任者
防災・安心地域委員会
本部長 大久保 春彦

ハザードマップを活用しよう！



※倉敷市が発行しているハザードマップ
（引用：倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップ）

災害発生後



※西日本豪雨後の浸水の様子（倉敷市）
（引用：平成３０年７月豪雨による倉敷市真備町周辺浸水想定段彩図）

今号は、防災・減災に有効なツールであるハザードマップについて掲載します。

平成３０年７月の豪雨によって発生した倉敷市での洪水では、ほとんどがハザードマップに示されていた浸水想定区域に発生しました。これによって、災害に対するハザードマップの有効性が再認識されたところです。

ぜひこの機会に、ハザードマップを活用しましょう。

ハザードマップって何だろう？

ハザードマップは、土砂災害や浸水の恐れがある地域を地図化したもので、被害の範囲や被害の程度、避難所等の情報が地図上で確認できます。

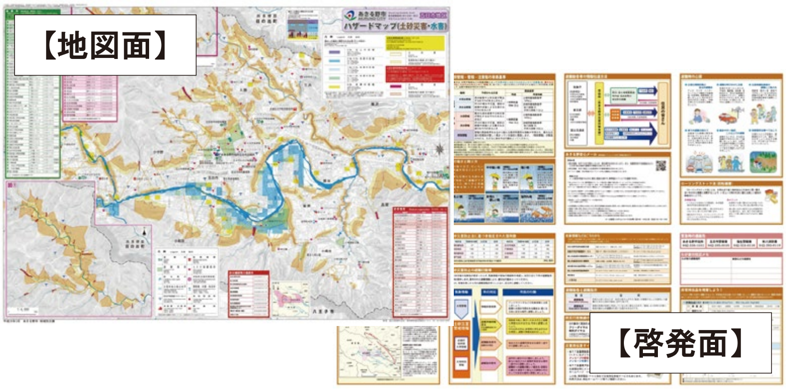
ハザードマップを活用することにより、災害発生時に迅速・的確に避難を行うことができ、災害による被害の低減に、非常に有効なものです。

ハザードマップってどんな時に見ればいいの？

災害時に、避難所や避難経路の確認に活用することはもちろんのこと、平常時からハザードマップを確認しておきましょう。自分が住んでいる地域がどんな場所かを知り、災害時にどんな行動をすればよいかをあらかじめ考えておくことが、災害による被害の低減につながります。

また、防災に必要な知識がハザードマップ裏の啓発面に掲載しておりますので確認しましょう。

ハザードマップの見方



あきる野市のハザードマップは、旧市町村単位である７地区ごとに作成しております。

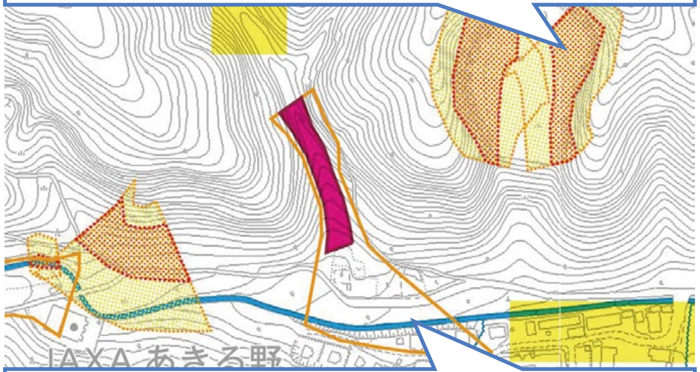
表面は地図面、裏面は啓発面を掲載しております。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域など必ず確認しておいてほしい場所の見方を以下の通りに掲載しておりますので確認しましょう。

■　急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

薄い黄色の範囲は土砂災害警戒区域の急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）に該当し、土砂災害の恐れがある区域です。

オレンジ色の範囲は土砂災害特別警戒区域の急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）に該当し、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域です。



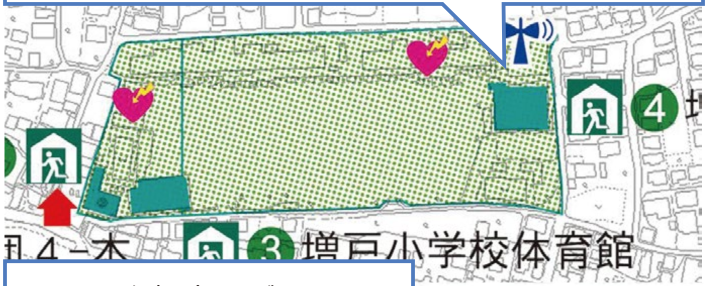
■　土石流

オレンジ色で囲まれた内側の範囲は土砂災害警戒区域の土石流に該当し、土砂災害の恐れがある区域です。

赤色の部分は、土砂災害特別警戒区域の土石流に該当し、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

■　避難所・避難場所

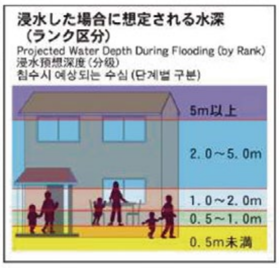
緑色の場所が、避難所または避難場所です。

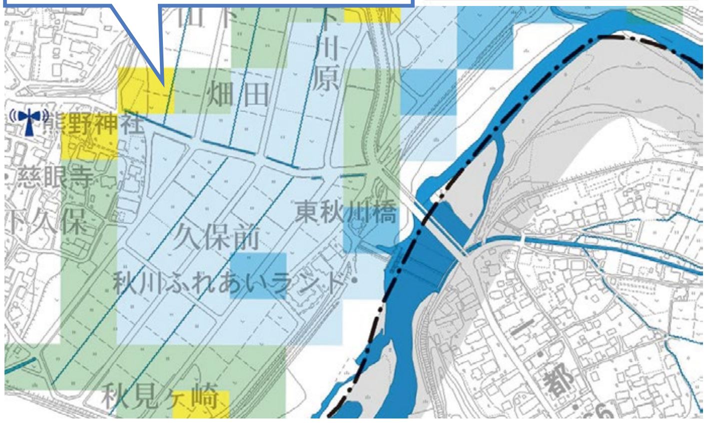


■　浸水想定区域

このメッシュは、浸水した場合に想定される水深を表しています。

右図の通りに、水深が異なります。





避難のポイント（風水害）

ご自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っている場合は、大雨等の際に災害が発生する恐れがあります。市が避難所を設置したときや避難情報を発令するときには、防災無線やホームページ等で周知しますので、早めに避難しましょう。

台風が最接近しているときなど、豪雨や強風の場合は外に出るとかえって危険な場合があります。そのような場合は、ご自宅の２階に避難したり、土砂災害警戒区域から少しでも離れた部屋等に避難しましょう。

※ハザードマップについての問い合わせ

あきる野市役所地域防災課防災係　電話番号：042-558-1111（内線 2343・2344）